

# わくわく倶楽部

江口グループ

第147号

令和元年10月発行

## 「自分が必要とされている」と 思える場所がありますか？

江口グループ 代表取締役社長 江口 充



**み** なさんこんにちは！今月も江口グループわくわく倶楽部を読んで頂きありがとうございます。今月はボート部の娘の新人戦が岐阜県であり応援に行く予定です。そして月末には金沢マラソンに出場しますので練習頑張っています！スポーツの秋を満喫している江口です。

**明** 治大学教授の齋藤孝さんの「人生後半の幸福論」という本を読みました。個人的にも、会社としても考えさせられてがありましたのでご紹介します。

**自** 「自分が必要とされている」と思えることは、人間にとって大きな喜びです。充実感、自己肯定感が湧き、生きる意欲にもつながります。たとえば、仕事でこれまで自分がリーダーとして進めていたプロジェクトの中心が後輩や部下に移り、オブザーバー的な立場になってしまったとき。あるいは、子どもが成長して自分たちの世界ができ、休日を親であるあなたと一緒に過ごさなくなったとき。「やっと自分の時間ができるとホッとする…とは限りません。むしろ自分が必要とされなくなっていくことへの一抹の寂しさを感じるものです。

**私** たちは日常さまざまなかたちで人との「関わり」を持っていますが、ふだんはそのことをあまり意識していません。当たり前のこととしてあった「関わり」や「関係性」に変化が生じて初めて、今まで自分が必要とされていたことに気づくのです。人間は、やはりつながりたい、社会から必要とされたいもの。自分の担っていた何かの役割が終わって心寂しさを感じるようなことがあったら、「役割を果たせそうな場所」を新たに見つけましょう。よくないのは、「自分は世の中から必要とされていないのではないかと考えすぎて、内にこもってしまうことです。それがエスカレートしていくと、「必要とされない自分には、価値がないのではないかと」いった考えにまで陥ってしまいます。「必要とされる」ことを受動的に捉えるのではなく、「自分が何か役に立てることはあるか」「世の中に貢献できることは何か」という視点を持つことが大切です。

**人** と人、何かと何かをつなぐために自分にできることを探そう。血のめぐりもそうですが、人のつながりも滞ってしまうとよくないので、流れをよくする、めぐりをよくすること

が大事です。地域のボランティアのようなニーズはたくさんあります。自分は社会における血液のようなもの、「血の一滴」だと考えてみてください。社会の血液として、役割を果たすことができていると思えたら、あなたは大丈夫。

**勉** 強会などでお世話になっている日本経営合理化協会の牟田學會長はこういうことをお話ししてくれます。「テーブルの上に置いてある1個のグラスは、それがどんな形であっても、決して生命体ではない。しかし、喉がカラカラに渴いた人が、そのグラスに水を汲んで飲む。そうすると、グラスはその人によって生かされ、生命を持つ。つまり、生きることになる。ケルケゴールは、存在しているものはみんな生きてると説いている。たとえ、それが生命体であってもなくても、別の個体に強く必要とされるものは、その存在の価値が高くなり、長く生き続けることができると教えている。」

**人** は、「あなたがいてくれてよかった」と、その存在を強く必要とされたとき、生きがいを感じ、生きていてよかったとしみじみ思うのではないのでしょうか。そして、1個のグラスと同じように、人によって生かされ、生命を持ちます。人に必要とされる人は、何かを与え続けている人なのではないかと思います。「自分が必要とされていない」と感じる人は、もらうことばかり考えている人。「もらうこと」に焦点を当てるのではなく、「与えること」に焦点を当てることを考えてみる。

**た** とえば…誰かを応援すること。自分の知識や情報をシェアし、発信し続けること。頼まれたことを快く引き受けること。いつも機嫌よく挨拶し笑顔でいること。まわりがほっこりするような愛語を発し続けること。ギブ&テイクではなく、ギブ&ギブの気持ち。テイク（もらうこと）を前提に、与えるのはダメで、見返りを求めない、ギブ&ギブかどうかを神様は見ているのではないのでしょうか。

**僕** は企業として「江口グループが必要とされている」と思える場所がありますか？と常に自分たちに問い続けていきたいと思います。「あなたがいてくれてよかった」と、その存在を強く必要とされる人でありたいし、「江口グループがいてくれてよかった」と必要とされる企業であるために「与えること」に焦点を当てて考えていきたいと思っています。

# 4代目の江口グループ現場だより

## 江口グループ社員旅行2019 ～いざ大阪、姫路へ!!～

**9** 月6、7日と社員旅行に行ってきました!行き先は姫路城、そして大阪です。現場の都合などで、どうしても行けない人もいましたが、参加者24名は朝6時50分に一人も遅れることなく集合し予定通りにバスで小松を出発しました!

**ま** ず向かったのは世界遺産でもあり国宝の姫路城です。姫路城は平成の大改修が4年前に終わり、改修の様子などがテレビなどで取り上げられているのを何度も見ていて、職人さんたちの技がギュッと詰まったキレイになった姫路城へ行けることはとても楽しみでした!バスに乗り込むと、直ぐにビールが配られみんなで大盛り上がり(笑)でも中には日頃の疲れか、ぐっすり爆睡する人もいましたが、姫路までの道のり約4時間半は大騒ぎの車内でした~(^^)

**朝** 7時に小松を出発した江口グループ社員旅行の一行は、お昼前に姫路に着き昼食をとってから「いざ姫路城へ~!!」。姫路市内をバスで進むと、だんだんと真っ白な白鷺城と言われている姫路城が見えてきました!! テレビで見てもキレイでしたが、実際に見ると青空に生えて、真っ白なお城が本当にキレイでした!

**さ** て、バスが停まった駐車場から天守閣までは、まだまだ遙か遠く…天守閣に行くまで片道30分強歩かなくてはいけないとのこと。もちろんお城の中にはエレベーターなどはなく、階段で上まで昇らなくてははいけません。そして、この日の最高気温は33℃。みんな汗だくになり、途中休憩しながら天守閣まで頑張りました!そしてやっと着いた天守閣からキレイな街並みを眺めることができました!

**こ** の姫路城は築城されてから約400年、戦などによる損害もなくほぼ昔のまま残っているというとても貴重なお城なんだそうです。お城に使われている柱や梁はもちろん細かい部分まで、昔の面影が残った歴史がいっぱい詰まった造りでした。築城された当時は今のように建設機械を使って工事をしたわけではなく、人力での作業だったと思います。そんな昔の工事なのに、よくこんな立派な木を切り出して運び、組み立てたもんなだな~って感心させ



姫路城



られました。それは石垣の石にしてもそうだし、また細かい部分の造りなんかとても繊細で昔の技術の高さに感心しました。今僕たちも建設業という仕事をしていますが、「重機を使わずに姫路城を造ってくれ!!」って頼まれたら「無理です!!」って言ってしまおうと思います。そう考えると当時の人たちの技術はもちろん、意気込み、気概は素晴らしいです。技術はもちろんそうですが、この心は同じ日本人として引き継いでいかななくてはいけないなって思いました。

**姫** 路から約2時間弱ほどで次の目的地あべのハルカスに到着。みんなは日本一の高さのあべのハルカスに昇り、それぞれ楽しんでいましたよ!高いところが苦手で、昇れなかった人がいたとかいないとか…とにかくみんな日本一のあべのハルカスを満喫したようです。

**あ** べのハルカスを後に、ホテルへ向かいチェックイン。そしていよいよ食い倒れの街大阪で懇親会です。懇親会は道頓堀にあるしゃぶしゃぶ食べ放題、そして飲み放題でした!! とっても美味しいお肉でみんなお腹いっぱい!そして懇親会では9月生まれの新卒2年目の森中勇樹さんと酒井夢大くん2人のサプライズ誕生パーティーを行いました!2人とともにめでたく20歳になったということで、みんなの前で20歳の誓いをしてもらいました!これからも2人頑張るね~!! 懇親会が終わってからは、それぞれが大阪の街を楽しんだようです!飲みに行く人、食べに行く人、中には朝まで飲んでた人もいたそうです。

**2** 日目は吉本新喜劇とパナソニックミュージアムへ行ってきました。吉本新喜劇では笑いの勉強を、そしてパナソニックミュージアムではものづくり、そして商売の勉強をした一日となりました。

**吉** 本新喜劇ではみんな大笑い!! 漫才コーナーと吉本新喜劇の2部構成で行われ、漫才コーナーでは、今流行りのミキ、そしてベテランの西川のりお、桂小枝、キム兄が登場し、大いに笑かせてもらいました(^^) 個人的にはテングラーの漫才が面白かったです!! 続いての吉本新喜劇はスッチーが座長で、みんなで大爆笑の2時間でした!

**み** んなで大笑いした後は、パナソニックミュージアムです。パナソニックが創業100周年を記念して建てた記念館。パナ



土木・建築・造園・ドライアイス洗浄と江口グループの工事現場を紹介します。  
 皆様のご近所で見かけた時はよろしくお願ひします(^)/



ソニックのものづくりと松下幸之助の商売の心がギュッと詰まった場所です。

**僕** がここに来るのは4回目なのですが、来るたびにたくさんの気づきがあって、お客様に対すること、経営者として、社員に対して、地域に対してのいろんなことに気づかされますし、商売するにあたり、とっても大切なことを教えてもらいます。社員のみならずにもここでいろんな気づきがあって欲しいな、そして仕事に活かして欲しいなと思い社員旅行のついでに行くことにしました。

**今** 回もたくさんの気づきをもらうことができました！そしてこの場所は仕事をしている人が来て松下幸之助に触れたいいなと思うし、特に経営者やリーダーの人たちはここに来たいいなと思います。絶対に間違いありません！！

**と** いうことで、とっても楽しくて最高の社員旅行でした！また来年行けるのが楽しみです～それまでみんなでお客様のため、地域のために一丸となって頑張ります！



## 江口組工事現場近くのお店のご紹介 「こまつ町家文庫」

**龍** 助町で行なっている無電柱化工事。その工事現場の範囲内にある「こまつ町家文庫」さんをご紹介させていただきます。先日、現場のみんなとランチに行ってきました！町家文庫さんのランチはランチプレートと丼とお蕎麦のメニューです。町家文庫さんの平日ランチは予約制となっていて事前にメニューを決めてほしいとかなくちやいけません。

**現** 場担当の中野初音さんから「社長は何にしますか？」と聞かれ、ランチプレートをお願いしました。でも現場のみんなは1品だけじゃ少ないと丼とそばのセットを注文しました！気を利かせてくれた初音さんが僕にもそばを注文してくれ、プレートとそばを美味しくいただきました！でもお腹いっぱい、お腹がパンパンになってしまいました～(^)現場のみんなはペロリとたいらげました。流石です！！プレートは野菜中心のヘルシーメニューで美味しく、玄米ご飯美味しかった～そしてそばも美味かったです(^)



**築** 80年の畳屋さんだった町家を改修した町家文庫さん。中には5,000冊の古本が置いてあり、本を読みながらカフェでゆっくりと時間を過ごすことができます。またカワイイ雑貨が沢山置いてあって女の子が喜びそうな感じです。ちょっとアートな空間。そして時間が止まったような癒しのブック&カフェこまつ町家文庫さんです。

- 住所/小松市龍助町102番地 ●電話番号/0761-27-1205
- JR小松駅より徒歩5分、小松バスバス停「龍助町」下車すぐ
- 営業時間/11:00～18:00 ●定休日/日・月・火
- ホームページ/http://machiya-bunko.com/

## 安宅海岸のボランティア活動を行いました

**8** 月23日になりますが、社員のみなんで安宅海岸の清掃ボランティアを行いました！雨が急に降り出して傘をさしたり、合羽を着てのゴミ拾いになりましたが、去年江口組が工事をした安宅海岸周辺をキレイにしました～(^) ペットボトル、お弁当のゴミ、タバコの吸い殻、なぜか片方だけのスニーカーなど沢山ゴミが落ちていました。

**小** 松市にとって大切な安宅の海。これで少しだと思いましたが安宅の海がキレイになりました。おつかれさまでした!!そしてSDGsゴール14「海の豊かさを守ろう」の実現にも少し近づいたかなと思います。

**終** 了後は、森田観光さんのなぎさの談話室で懇親会を行いました！森田観光さんの美味しいお魚でお腹いっぱい!!みんなで盛り上がりました！





総務部  
庄源知加子



環境建設部  
池田 雅弘

# スタツ通信

サッカーをならっている息子達は、  
**サッカー**だ"と思うけど... 余は...

東京で「開場されるので」**全部**☺

見に行きたいけど、チケットがー

Tokyo 2020 楽しみで"す☆☆



環境建設部  
村上 昌洋

注目競技は  
卓球です!!

最近プロ化されて、

TVでもとりあげられて、

男女とも世界ランク上位だから  
中国勢とどう勝負するかが  
楽しみです。



総務部  
喜多 小純

**Soccer**  
未来の10番!  
"久保建英"



オリンピック  
で暴れて  
ほしい。

和製  
メッシ  


こんにちは。実りの秋ですね。つい、おいしいものを食べ  
ることばかり考えてしまいがちですが、運動したり、読書  
をしたり、楽しく過ごしたいです。今月も、**東京オリン  
ピック**での活躍を見てみたい競技や選手です。

**野球**と**ソフトボール**です!

元々 野球が好きなので 和野球  
選手で作られる ドリームチームも  
楽しみですが、息子がソフトボール  
をしているので あごを骨折して  
復帰した 上野投手も 楽しみ  
です。

選手、皆々の笑顔が楽しみです!



お店を紹介、  
みんなに  
知ってほしいこと、  
ご意見・ご感想などが  
ございましたら  
ご連絡下さい!



発行元 **EGUCHI**

**江口グループ**

**株式会社 江口組**

小松市殿町2丁目66番地  
TEL.0761-24-1311(代)